

## 通信講座 プログラマー育成コース for Java [Java8対応]



この講座は、富士通が永年にわたり築いてきたJava開発技術をテキストと実習を通じて学んでいただける通信教育型の講座です。

学習内容は、Javaのプログラミングだけでなく、フレームワーク、ソースレビュー、テスト技法などJavaを使った開発の流れ全体を学習でき、また、実践的な開発実習【10パターン、2.7KS程度】も用意しております。平均6ヵ月程度の時間は掛かりますが、確実にスキルを身につけることができます。

### ■講座概要について

- ◆講座名 : プログラマー育成コース for Java
  - ◆コース価格 : ファミリー会員様向け特別価格 72,000円/1名(税別) (通常価格: 80,000円/1名(税別))
  - ◆コースコード : UFAP01
  - ◆受講期間 : 平均 6ヵ月程度 (最長12ヵ月)
  - ◆前提知識 : Javaの初歩的スキルを有していること
  - ◆開講日 : 2017年10月10日(火)開講
  - ◆申込締切 : 2017年 9月25日(月)
- ◆教育内容 : ①前提資格テスト(2種類)  
②テキスト学習(10単元、66時間)  
③Java知識テスト(2種類)  
④Javaプログラミングテスト  
⑤最終確認テスト

詳細は、<http://www.fujitsu.com/jp/group/fap/services/java-education/> をご覧ください。(※1)

### ■申込方法

- ◆ファミリー会関東支部ホームページの当講座申込みフォーム、またはE-mailにてお申込みください。(講座一覧は関東支部ホームページの当講座「講座一覧」をご参照願います。)
- ◆お申込み後、各受講者の皆様へは、開講日の2~3日前にE-mailにて教育受講案内(受講者ID他)を送付いたします。

※E-mailにてお申し込みの場合、下記の項目をご記載の上、下記のメールアドレス宛お申し込みください。

#### ◆お申し込み宛先メールアドレス: [contact-family-kanto@cs.jp.fujitsu.com](mailto:contact-family-kanto@cs.jp.fujitsu.com)

- 申込み責任者様 : 貴会員名 ・ 所属・役職 ・ お名前 ・ E-mailアドレス ・ 所在地 ・ 電話番号
- ご参加者様 : 講座コード ・ 講座名 ・ 所属・役職 ・ お名前 ・ E-mailアドレス
- 請求書宛先 (申込み責任者様またはご参加者様またはその他)

### ■“おすすめ”の受講タイミングについて

受講者は、業務を遂行しながら実践的なJavaの開発技術を学んでいただくことができます。学習の進め方として、受講者は、指定のホームページからテスト問題や単元学習テキストのファイル(pdf形式)をダウンロードし、ご自身のパソコンでテスト実施やプログラミングを行い、Eメールで提出する方法です。

- ◆新人集合研修を終えた新人に対して、OJT期間中のJavaスキルアップ学習教材として
- ◆現場経験のある入社2~3年生の方へのJavaスキルアップ学習教材として
- ◆シニア層のCOBOLプログラマーへのJavaスキルアップ学習教材として



### ■受講者の声について

以下は、この通信講座を受講した受講者の声です。

- ◆この通信教育は、Javaの知識、一般的に用いられている統合開発環境eclipse、Javaのコーディング規約、Javaのレビュー観点などなど、Java初心者が躓きそうな内容を網羅していますね。
- ◆コーディング規約をこれほど丁寧に学習する事はなく、大変勉強になりました。
- ◆今までは「何となく分かった…」の段階で終わっていましたが、今回勉強した事で「そういう意味だったのか!」としっかりと内容を理解・把握することができました。



### ■通信講座のサービス提供範囲について

お申込みにあたって、以下に記述の内容をご一読、承諾のうえ、お申込み願います。(※1)

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fap/services/java-education/application/specification.html>

約10年にわたり、9,300名以上の受講者実績があり、Javaアプリ開発を行うプロの講師陣が、受講者一人ひとりに丁寧かつ細やかにご指導します!

※1)本講座は、ファミリー会向け特別講座のため ①開講月、②申込方法、③価格、④費用振込期日 がホームページ記載の内容と異なります。また、※1のホームページからお申し込みされますと、ファミリー会会員様向け特別価格が適用されません。ご注意ください。